Munetsugu Hall

トップ・プレイヤーが集う、究極の四重奏

前橋汀子カルテット

Teiko Maehashi Quartet



© 篠山紀信

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲の 初期・中期・後期、各1曲ずつを抽出

第 4 番 ハ短調 Op.18-4
第11番 ヘ短調 Op.95「セリオーソ」
第14番 嬰ハ短調 Op.131



© 藤本史昭　© 斎藤清貴

久保田 巧（ヴァイオリン）Takumi KUBOTA
川本 嘉子（ヴィオラ）Yoshiko KAWAMOTO
原田 禎夫（チェロ）Sadao HARADA
前橋 汀子（ヴァイオリン）Teiko MAEHASHI

2023年 4月 2日(日) 14:00開演 13:30開場［指定席］一般5,000円　学生（対象：小学生以上25才以下の学生）ハーフ60（後半のみ観賞の当日券）3,000円

12月11日(日) 10時より 販売開始

●宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718［店頭販売は発売翌日から開始］
●チケットぴあ WEB購入=https://t.pia.jp/　店頭購入=セブンイレブン
●名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755

※「学生券」、「ハーフ60」は、宗次ホールチケットセンターのみで取扱い※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。
※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。※団体のお客様の為に席の一部を確保させていただく場合がございます。

くらしの中にクラシック 宗次ホール Munetsugu Hall
名古屋市中区栄4-5-14　〒460-0008
営業時間：10:00～16:00　不定休
（終了時間は17:00もしくは18:00の場合有）



前橋 汀子（ヴァイオリン）Teiko MAEHASHI

2022年に演奏活動60周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味あふれる演奏で、多くの聴衆を魅了し続けている。これまでにベルリン・フィルを始めとする世界一流の多くのアーティストとの共演を重ねてきた。近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開。一方、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ＆パルティータ」全曲演奏会や、2014年からは原田禎夫（チェロ）、久保田巧（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）と共に弦楽四重奏の演奏会を行うなど、室内楽にも意欲的に取り組んでいる。最新CDの秋山和慶指揮、オーケストラ・アンサンブル金沢との『ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調、ロマンス第2番ヘ長調』が2022年6月に発売。著書「私のヴァイオリン 前橋汀子回想録」が早川書房より、最新刊「ヴァイオリニストの第五楽章」が日本経済新聞出版より出版されている。

2004年日本芸術院賞、2007年第37回エクソンモービル（現・ENEOS音楽賞）音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2011年春に紫綬褒章、2017年春に旭日小綬章を受章。

使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グァルネリウス。

久保田 巧（ヴァイオリン）Takumi KUBOTA

東京生まれ。4歳よりヴァイオリンを始め、福島幸雄、西島英子、外山滋、江藤俊哉の各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て、ウィーン・フィルの名コンサートマスター、ヴォルフガング・シュナイダーハン氏に師事。1983年第2回フリッツ・クライスラー国際コンクール第2位、第3回ミケランジェロ・アバド国際音楽コンクール第1位、そして1984年ミュンヘン国際コンクールに日本人初優勝、一躍楽壇の注目を集める。サヴァリッシュ、ギーレン、サハロフとの名共演はいまだ印象深い。パウル・グルダをパートナーとし、08年ブラームス：ソナタ全曲演奏会は、緻密で熟成深いアプローチと各紙で絶賛を浴びた。

数々のCDには、クライスラー、シューベルト、ベートーヴェン、プロコフィエフなどの作品を収め、04年「バッハ：無伴奏パルティータ全曲」はレコード芸術の特選盤に選出、08年グルダとの「ブラームス：ソナタ全集」も名盤として評価を得ている。

サイトウ・キネン・オーケストラや水戸室内管でも長年に渡り活躍、桐朋学園大学教授、国立音楽大学客員教授として後進の指導にあたるほか、オリジナリティ溢れる子供教育公演も好評を博している。

川本 嘉子（ヴィオラ）Yoshiko KAWAMOTO

1992年ジュネーヴ国際コンクール・ヴィオラ部門最高位（1位なしの2位）。96年村松賞、97年第7回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015年東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞受賞。ソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴィオラ奏者の一人。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。タングルウッド、マールボロ、ダボス、東京の夏、霧島音楽祭、サイトウキネン、小澤音楽塾、水戸室内管、アルゲリッチ音楽祭等に参加しアルゲリッチやバシュメットなどと共演し絶賛を博している。チョン・ミョンフンとの室内楽では日本・韓国公演も行なっている。1991年東京都交響楽団に入団。1999年より2002年退団まで首席奏者。2017年～21年までNHK交響楽団首席客演奏者を務める。ソリストとして、これまでにガリー・ベルティーニ、ジャン・フルネ、ペーター・マークなどの著名な指揮者と共演。

小澤音楽塾、愛知室内オーケストラでは弦楽器アドヴァイザーとして、後進の育成にも積極的に力を注いでいる。

類稀なる表現力とテクニックで聴衆を魅了し、日本を代表するヴィオラ奏者の一人として常に第一線で活躍している。

原田 禎夫（チェロ）Sadao HARADA

斎藤秀雄に師事、桐朋学園大学卒業。東京交響楽団の最年少首席チェリストを務めた後、ジュリアード音楽院にてクラウス・アダムス、ロバート・マン、ラファエル・ヒリヤー各氏に師事し室内楽の研鑽を積んだ。ミュンヘン国際音楽コンクールなどで圧倒的な優勝を飾り世界の注目を浴びる。スカラ座、コンセルトヘボウ、カーネギーホール等で名演を残し、録音でも数多くの賞に輝いている。東京クワルテットの創設メンバーとして30年間同カルテットを率い、世界各地で演奏。99年の退団後は、ソリストとしてN響（指揮：準メルクル）、新日フィル（指揮：小澤征爾）等と共演。室内楽では、ロバート・マン、アルバン・クワルテット、ジュリアード・クワルテット、上海クワルテット、ジェシー・ノーマン、ピンカス・ズッカーマン、アイザック・スターンらと共演。サイトウ・キネン・オーケストラおよび水戸室内管弦楽団メンバー。

奥志賀室内楽講習会、スイス国際ミュージックアカデミー、タングルウッド音楽祭室内楽マスタークラス、北京室内楽講習会等で後進の指導にあたる。アメリカ・イェール大学音楽学部教授、ドイツ・トロッシンゲン国立音楽大学教授を経て、現・上野学園音楽大学教授。

【 お客様へのお願い 】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。
詳しくは、ホームページwww://munetsuguhall.comをご覧ください。

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14　〒460-0008
TEL：052（265）1715　FAX：052（265）1716
E-mail　info@munetsuguhall.com
URL　https://munetsuguhall.com/

宗次ホールチケットセンター
営業時間：10：00～16：00　不定休
（終了時間は17：00もしくは18：00の場合有）